

# 麻 〈共に考えあひ〉 特別号 586号

## ドドドとした、心の中を全部出せた 一時間！

- ・ごめんね 知らなかった、
- ・S子が泣いていて知らな小りもしていた、
- ・俺も ……
- ・S子ごめんね、俺しらがかった
- ・先生の涙が ……

ありがとう！ みんなのこれからの姿が  
本物がどうか …… たのしみにしたい、

～生活記録より～

今日、同和教育の時間我がクラスの大改革が  
あった。「すごかったなあ」C男が「すごい泣いて  
はな水と涙が」一緒になっていた。4人の仲間も  
一緒だ。…俺はC男が「S子をしめていた  
ことを知っていた。今日、C男とS子の心の中を聞いて  
いて、自分が情けなくなった。

先生、俺はこれから何を心に 入れて  
生活すれば、…人たろうか？ (D男)

悲しかった。S子さんがこんなにも心を  
いためていたのかと思った。私って何にも  
してやれなかったし、やれない人間なのだ  
らうか？ ごめんね、S子さん！

今日から私は、私をためさなくては…  
と思いました。 <M子>

文礼先生から

～〇〇荘の〇〇さん、90才からの便り～

暑中御見舞申し上げます  
夏は暑くも秋は涼しくも  
御礼申し上げます  
毎朝暑くも秋も涼しくも  
私に付いたお礼申し上げます  
御家お元気で先金方もよろしくお祈り  
下さいます。此書も御礼申し上げます  
私に付いたお礼申し上げます



～S子の母親の手紙の一部分～

耳の奥に「大地の歌」鳴り響いています。  
女の子の澄みきった声と男子の力強い声が  
和音となって、ずっとずっと心の奥まで響いています。  
先生、ありがとうございます。誘ってください。  
この貴重な時間を共に感動できるともしあわせです。  
娘の姿を見上げていました。いろいろなことが思い出され、  
涙がこみあげてきました。それにもましてどの生徒にも  
深い愛しさを感じました。(S子の母)